

各 位

会 社 名 株式会社みんなのウェディング
代 表 者 名 代表取締役社長兼CEO 飯尾 慶介
(コード番号：3685 東証マザーズ)
問 合 せ 先 取 締 役 C F O 新井 普之
兼コーポレート本部長
(TEL. 03-3549-0260)

売上に関する社内調査結果に関するご報告

このたび、当社の平成26年9月のBrideal事業本部の売上の一部において、実態を伴わない売上が含まれていたことが判明いたしました。その詳細及び今後の対応につきまして、下記の通りご報告いたします。

株主の皆様をはじめとする当社関係者の皆様には、多大なるご迷惑とご心配をお掛けいたしますことを深くお詫び申し上げます。

記

1. 調査に至る経緯

平成26年10月、当社会計監査人から、平成26年9月のBrideal事業本部の売上の一部において、実態を伴わない売上が計上されている可能性がある旨を指摘され、当社監査役会に内容の調査を求められました。当該取引には当社代表取締役及び取締役（Brideal事業本部長（当時）、以下、「担当取締役」）が関与している可能性があったことから、当社社外取締役及び社外監査役らにて、直ちに社内調査を開始いたしました。

2. 社内調査の概要

(1) 目的

- ・Brideal事業本部における過年度及び平成26年9月期における実態を伴わない売上の有無及びその内容の確認
- ・実態を伴わない売上を確認した場合にはその原因究明と再発防止策策定

(2) 体制

社内調査は、以下の社外取締役及び社外監査役が実施し、調査補助者として、内部監査チーム及びコーポレート本部から必要に応じてスタッフを加えて調査を行いました。

澤田 静華	監査役（常勤）	公認会計士
芝 昭彦	取締役（社外）	弁護士
今村 創造	監査役（社外）	
本橋 広行	監査役（社外）	公認会計士

(3) 調査方法

過年度及び平成26年9月期のBrideal事業本部における重要な売上について、関連証憑の確認、関係者への質問、取引の合理性及び整合性の検証を中心に調査を行いました。

3. 確認された事実の概要

Brideal事業本部の平成26年9月の売上において、当社従業員（以下、「担当者」）の親族のウェディング施行に係る12百万円の売上が計上されておりましたが、その実在性について疑義が生じました。

社内調査の結果、担当者の親族のウェディング施行は行われておらず、代表取締役及び担当取締役が担当者に指示をしてBrideal事業のプロモーション用の撮影を行ったものであり、当該売上に係る入金は代表取締役の個人資金から拠出されていたことが判明いたしました。

また、コーポレート本部においては、Brideal事業本部の売上へのモニタリングが不十分であり、当該売上を発見することが出来ませんでした。その後、会計監査人監査において指摘され、当該売上について修正されるに至りました。

代表取締役及び担当取締役の動機としては、平成26年9月期の業績未達を少しでも穴埋めしようというものでした。

なお、社内調査において、上記事実以外でウェディング施行の実態を伴わない取引がないか調査しま

したが、他に修正を要する取引は認められませんでした。

4. 業績への影響

上記事実は平成 26 年 9 月期第 4 四半期に発生した事象のため、有価証券届出書に記載された平成 25 年 9 月期及び平成 26 年 9 月期第 3 四半期までの四半期報告書については、訂正報告の予定はありません。

また、当該売上に係る会計処理の修正は、本日開示した平成 26 年 9 月期決算に反映済みのため、業績への影響はありません。

5. 再発防止策及び代表取締役の辞任

(1) 再発防止策

社内調査を行った当社社外取締役及び社外監査役より、以下の再発防止策が提言されました。当社は今後、これらの再発防止策を講じ、内部統制の改善を図って参ります。

- ① コンプライアンス体制の強化及び企業風土の改善
- ② 職務権限や職務分掌の見直し
- ③ Brideal 事業本部における業務プロセスの見直し
- ④ 決算財務報告プロセスの見直し
- ⑤ 内部通報制度の充実

(2) 代表取締役の辞任

代表取締役については、平成 26 年 12 月 25 日開催予定の定時株主総会にて辞任する予定です。

なお、新任代表取締役を含めた新体制案については同株主総会議案決定時に、平成 27 年 9 月期の業績予想については決まり次第、それぞれご報告する予定です。

以上